

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		児童手当支給事業費〔児童手当支給事業〕						
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 1	児童福祉総務費	事業番号	3
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの						
担当部署・課長名		子育て支援 課 手当・助成			係	課長名		新海 隆弘
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号		2 - 4
【施策名】 児童福祉の推進						総合計画書(ページ)		59
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 中学校修了前までの児童を養育する保護者			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 手当の対象となっている子どもの数 (15歳までの児童(4/1時点で0~15歳)の人口)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 児童手当の支給により、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 年間手当支給総額				
	③ そのために何をしましたか。 ①申請受付 ②審査 ③決定・通知書送付 手当支給決定後 ①支払処理 ②更新処理 ③届出事項変更処理・資格消滅処理 等			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 受給者数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	人	12,083	11,924	10,925		
	成果指標	②の数値	人	1,350,165,000	1,324,800,000	1,292,320,000		
	目 標	②の目標値						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)								
3 経費	活動指標		③の数値	人	6,457	6,324	5,962	
	事業費(実績)		円	1,351,948,208	1,326,889,944	1,293,989,015	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	207,131,545	203,904,279	199,106,185		
		特定財源	円	1,144,816,663	1,122,985,665	1,094,882,830		
	(うち受益者負担)		円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.5	2.0	2.0		
		所要人数(再任用)	人					
職員人件費(再任用以外)		円	12,379,500	16,488,000	1,662,000			
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	1,364,327,708	1,343,377,944	1,295,651,015			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く							
	現況届審査業務において、所得状況、加入年金情報等を確認しているが、マイナンバーによる情報連携及びシステムをより効率的に運用し、審査に係る作業の効率化を図る必要がある。							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く							
	マイナンバーによる情報連携及びシステム処理をより効率的に運用するため、事務取扱細則、システムの運用、事務フロー等の見直しを進める。							